

視聴覚教育

NO. 367

発行日

22. 11. 19

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚用語

【Cookie (クッキー)】

Webサイトの提供者が、Webブラウザを通じて訪問者のコンピュータに一時的にデータを書き込んで保存させるしくみ。ユーザに関する情報や最後にサイトを訪れた日時などを記録しておくことができる。

教育を変える可能性を秘めた大型ディスプレイ

現職研修委員会学習情報部長 大岡久芳

各学校の先生たちは、普通教室に入った大型ディスプレイやノートパソコン、教材提示機などのICT機器を積極的に活用して、日々、子供たちの学習意欲や興味関心を高める授業を実践していることと思います。羽根小学校では、ちょうど一年前の視聴覚教育総合全国大会で、電子黒板やデジカメ等を利用して、「伝え合い練り上げる子」の育成をめざした実践発表を行いました。昨年度、他校に先がけて大型ディスプレイを設置していただいたので、多くの先生たちが、画面の鮮明さ、大きさに注目しました。

本年度も、本校の先生たちは、活用促進のため、毎朝テレビ台から機器を取り出し、いつでも利用できる状態にセットし、授業では次の四つの場面で活用するように心がけています。

- ◎導入時、興味関心を高める場面
- ◎学習課題を明確に把握させる場面
- ◎思考や理解を深めていく場面
- ◎知識の定着を図る場面

しかし、日々活用していく中で、物足りないところがあります。それは電子黒板のような機

能がないところですが、文科省の「ICTの教育活動を推進する実践研究事業」東海・北陸ブロックの幹事校を本校が担うことになり、その機能を持つ枠が、一つのディスプレイに取り付けられました。

先日、これを取り付けた3年3組で、算数「三角形を調べよう」の研究授業があり、授業者は次の工夫をしていました。

- ◎画面への書き込み
- ◎画像の拡大、回転、移動、記録
- ◎フラッシュ型教材の提示



授業のそれぞれの段階でディスプレイを使い、板書も計画的になされ、下を向いている児童は一人もいない授業になりました。大型ディスプレイは教育を変える可能性を秘めていることを再認識する授業でした。

なお、11月24日には、「ICTの教育活動を推進する実践研究事業」東海・北陸ブロックのもう一つの幹事校である葵中学校で、授業研究協議会が開催されます。

II 視聴覚教育あれこれ II

●情報モラル教育の推進について

一昨年度から施行された「青少年インターネット環境整備法」を受けて、昨年度から子供に持たせる新規契約の携帯電話には、フィルタリング機能の付いたものを提供することが、携帯電話会社に義務付けられている。

現在、フィルタリングの多くは、「規制リスト方式」が採用されているが、規制されないサイトの中には、プロフやミニメールが利用できるモバゲーやグリーなどがある。警視庁のまとめでは、今年の1月から6月の間にモバゲーやグリーを利用して犯罪被害に遭った子供は、昨年同期より10%上回っている。もう一つのフィルタリング方式として、「許可リスト」方式がある。これは、保護者が認めたサイトを個別に指定して、利用させることができる。

岡崎市の学校のホームページのトップには必ず「情報モラル専用サイトiモラル」へのリンク用アイコンが貼られている。保護者に薦めるだけでなく、教師自身がサイトを閲覧し、このような現状を踏まえたり、各校の取り組みを参考にしたりして、全職員が同じ歩調で情報モラルを子供たちに指導していきたい。同時に、保護者向けの情報モラル講座を開催するなど、保護者に対する情報モラルの啓発をすすめたい。



実践報告Ⅱ

動画を活用したミシンの使い方の学習

広幡小学校 成田 道俊

5年生の家庭科「ミシンを使ってみよう」の単元で、教育用デジタルコンテンツの動画と、自作のビデオを使って実践した。

第一時では、ミシンへの糸の取りつけを師範した後、「針の取りつけ」と「上糸の準備」のデジタルコンテンツの動画を大型ディスプレイに映して説明した。大切な場面では一時停止をし、全員で確認した。針がピンに当たるまで入れる様子がクローズアップされているので、子供たちにとって分かりやすく、その後の実習でも、きちんと針を取りつけることができた。

翌週の授業では、ミシンの使い方の復習として、自作したビデオを活用した。

準備から縫い終わるまでを約六分に編集してまとめ、ミシンの準備の流れとそのポイントを押さえることができるようにした。特に「下糸の出し方」は、児童の苦手とする技能である。

ビデオでは、手順を追ってテロップをつけるなどの工夫をした。家庭科の授業は週に一度のため、注意する点を忘れている児童もいるが、短時間で視覚的におさらいすることができ、スムーズに実習を行うことができた。

今後、大型ディスプレイと動画教材を活用し、分かりやすい授業づくりを進めていきたい。



Ⅱレッツ・トライⅡ

教室での理科の授業に！

32学級ある本校の普通教室での理科の授業を助けてくれるのが、全教室に配備された大型テレビとパソコンである。教室パソコン導入時に天体シミュレーションソフトを用意されているので、本校でもフルに使っている。それ以外にもインターネット上に役立つサイトはたくさんある。

今回お薦めするのは、独立行政法人 科学技術振興機構のサイトである。ここにはその名の通り科学技術に関する内容が集められている。理科の教員だったら、一度は訪れておきたいサイトである。もちろん、小学校の教員でも活用できる。

理科ねっとわーく（一般公開版）

<http://rikanet2.jst.go.jp/>

電気分解でのイオンの動きとか植物の受粉の様子などのシミュレーションはもろろのことと実験映像、3D画像や静止画が満載である。

JSTバーチャル科学館 惑星の旅

<http://jvc.jst.go.jp/universe/planet/>

太陽系の惑星一つ一つを音楽と解説で分かりやすく紹介してくれる。

また、本校の職員室の先生用フォルダの中には理科だけでなく各教科のフォルダが作られ、授業ですぐに使えるように教材を準備している。ぜひ、みんなで活用を進めよう。

(南中学校 学習情報主任 笥 哲也)



ライブラリーだよ

●第8回ふるさと岡崎

メディアコンクールのお知らせ

今年度の「ふるさと岡崎メディアコンクール」の作品募集の受付が、11月15日（月）から始まります。児童生徒が授業で取り組んだ作品や、先生方が授業のために作った作品など、3つの部門に多くの作品の応募をお待ちしています。ライブラリーのHP(<http://www.oavl.jp/>)に応募表があります。ぜひ、ご参加ください。

【募集期間】

平成22年11月15日（月）～12月3日（金）

（郵送による応募も可）

【応募先】岡崎市視聴覚ライブラリー

〒444-8601 岡崎市普生町1丁目3番地1

【募集部門】

- ①生涯学習部門
- ②学校教育教材部門
- ③児童生徒作品部門

【テーマ】

自由（生涯学習の学習教材又は学校教材となるものとし、応募者の自作であること）

【利用メディア】

ビデオテープ S-VHS、VHS、Hi8、8ミリビデオ、DV等

マルチメディア FD、CD、MO、DVD

※使用音楽の著作権にお気をつけください。

